

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376100174
事業所名	高齢者グループホーム小原安立

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	目標達成計画に、『地域行事の情報を社協・地元地区等から集め、月2回以上は参加する』を掲げている。 運営推進会議事録には、ホーム・地域の行事が、『時期』、『内容』、『場所』に分けて記録されている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	地域包括支援センター・民生委員・老人会会長・利用者・家族・管理者・職員をメンバーとして、年間6回開かれている。 利用者やサービスの実体を資料にまとめて会議を開催し、議事録も丁寧に記録している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議への地域包括支援センターの参加、介護相談員の受け入れ等によりホームの状況は役所窓口で理解されている。 管理者は役所も参加する会議で積極的に発言し、役所との交流に努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	日頃から職員に、全利用者の説明が出来る様に指導している。 家族の訪問時には、誰が対応しても満足して頂ける説明をし、気軽に意見を言ってもらっている。その際に、毎日の様子が記録されている『介護記録票』に目を通してもらい、印鑑を頂いている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。